

シロイチモジヨトウ情報第3号 (ダイズ・野菜類等)

令和6年9月17日
愛知県農業総合試験場
環境基盤研究部病害虫防除室

キャベツ、ハクサイほ場で誘殺数が多い状況です

1 発生状況

フェロモントラップにおける直近1か月の総誘殺数が、長久手市のほ場で392頭（平年82頭、前年364頭）と過去10年間で最も多い状況です。豊橋市のハクサイほ場では1308頭（平年992頭、前年2696頭）と過去7年間で2番目に多い状況です。田原市のキャベツほ場では1066頭（平年631頭、前年671頭）と過去5年間で最も多い状況です。西尾市のダイズほ場では1115頭（平年832頭、前年1410頭）と平年並ですが、8月第6半旬以降多い状況が続いています（図）。

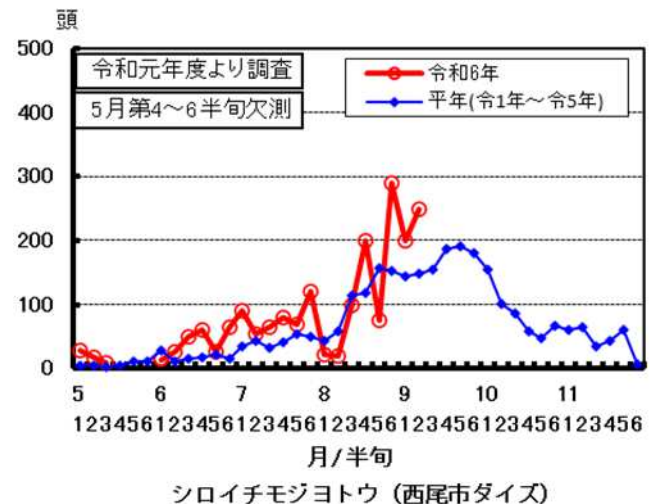
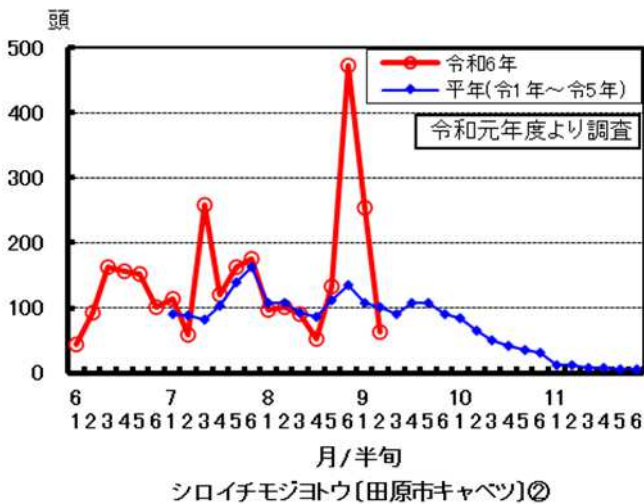
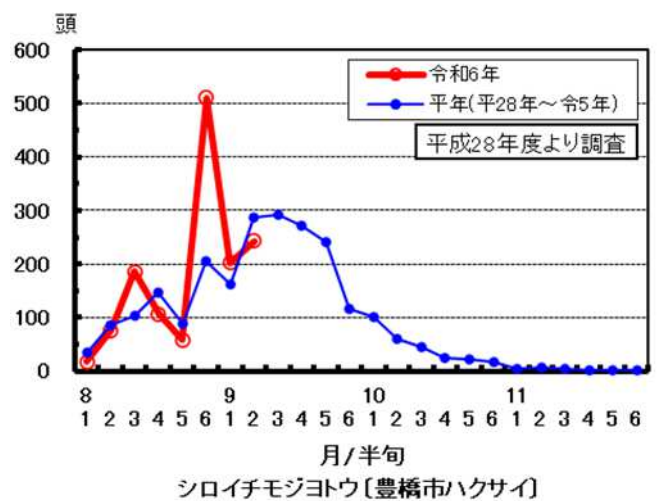
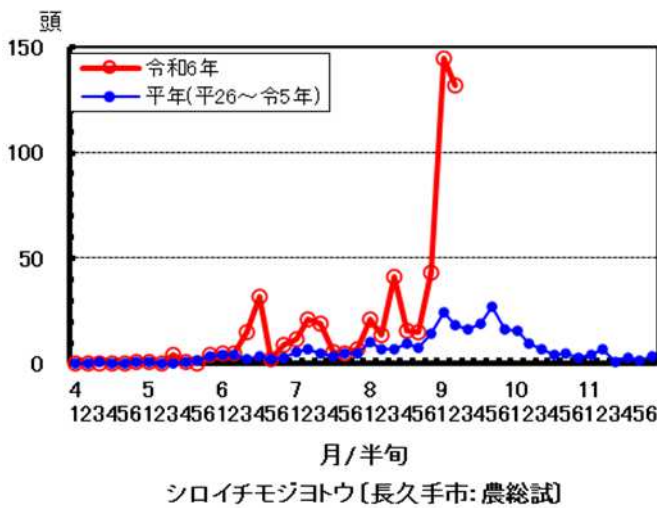


図 フェロモントラップにおけるシロイチモジヨトウの誘殺数

2 今後の見込みと防除対策

名古屋地方気象台9月12日発表の1か月予報によれば、気温は高く、降水量は多いと予想されています。これまで誘殺数が多い状況が続いていたことから、今後の発生状況には十分な注意が必要です。ほ場を観察し、卵塊や幼虫を確認したら防除しましょう。

ダイズほ場で白変葉を確認した場合、シロイチモジヨトウによる食害の可能性があることから、幼虫をよく確認し、ハスモンヨトウと間違えないように注意して防除しましょう。

農薬については、8月2日発表の「シロイチモジヨトウ情報第1号（ダイズ、キャベツ）」及び農薬登録情報提供システム (<https://pesticide.maff.go.jp/>) を参考に、発生を確認したら防除しましょう。